

# 多様な人材育成に関する万国津梁会議（第2回） 会議資料

2020年9月7日（月） 15:00-17:00

## ◆◆会次第◆◆

- |               |                            |
|---------------|----------------------------|
| <15:00-15:05> | <b>1 開会挨拶</b><br>委員長 宮平 栄治 |
| <15:05-15:20> | <b>2 報告事項：前回会議の振り返り</b>    |
| <15:20-17:00> | <b>3 審議事項</b>              |
| <15:20-16:50> | (1) 主要テーマに関する意見交換          |
| <16:50-17:00> | (2) その他意見                  |

## 審議事項（1）〈報告〉前回会議の振り返り

- 第1回会議における委員の意見内容（※詳細は、議事録参照）を、主要テーマごとに「現状・課題」、「必要な人材・取組」の項目に大別して整理した。
- テーマ間に共通するキーワードとしては、①コロナ禍による変化への対応、②ITの活用と限界、③島嶼県ならではの人材育成が挙げられる。
- それぞれ、全国的なもの（現状・課題や必要な人材・取組）と、沖縄独自のものに分けられる。
- これら意見内容を踏まえ、これからの提言を検討するため、意見およびアイデア出しのヒントとして、SCAMPER法（※5ページ参照）を用いて再整理した。

### ① 産業振興を担う人材の育成に関する意見

現状・課題	必要な人材・取組
<p>〈全国的な現状・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉・介護の必要な方の社会進出と介護離職</li> <li>福祉・介護人材の不足、コロナによるマイナスイメージ</li> </ul> <p>〈沖縄独自の現状・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化・芸能を担う人材の育成と観客層の育成（伝統文化・芸能の継承）</li> <li>高学歴者の県外就職・進学</li> </ul>	<p>〈全国的に必要な人材・取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短期的に既存業態の変化</li> <li>長期的に人の価値（ITリテラシーの向上と高付加価値化等）</li> </ul> <p>〈沖縄県に必要な人材・取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他県や世界から注目されるくらいのきっかけになるような人材育成</li> <li>ITに頼らない部分を踏まえた、伝統文化・芸能振興</li> </ul>

## 審議事項（1）〈報告〉前回会議の振り返り

### ② 学校教育と社会教育の総合的・横断的な取組等の推進に関する意見

#### 現状・課題

##### 〈全国的な現状・課題〉

- 学習指導要領の改訂と、GIGAスクール構想
- オンライン化による平等な教育の可能性
- IT教育、ITを活用した教育の遅れ
- ITリテラシーの格差（地域間格差、学校間格差）
- 貧困対策の遅れ
- 自己肯定感・自己効力感の低さ
- ビジネスアナリストの台頭と、県民（特に女性）との親和性
- コロナ禍の中で、これまでのキャリア教育（管理教育）の機能不全
- 考える能力の欠如（ビジネス環境、プロセスの変化を他人事として捉えている）

##### 〈沖縄独自の現状・課題〉

- 地方自治体による福祉体験・ボランティア体験
- BPO事業による業務の推進（コールセンター等）と、将来的な機械化への代替

#### 必要な人材・取組

##### 〈全国的に必要な人材・取組〉

- 公教育のあり方の検討
- 高齢者や障がい者への理解、高齢者や障がい者を踏まえた社会のあり方の検討（マインド醸成）
- 沖縄におけるビジネスアナリストの育成（ITリテラシーや論理的思考など基礎的能力を含む）
- 考える能力を育成する、企業－大学間の連携プログラム（社会の課題は何なのかということを経験的に学んだことが社会の課題を解決できるものに）
- 未来を生き抜く力と、学校教育・社会教育の連携
- AIや機械に代替できない高付加価値業務への転換

##### 〈沖縄県に必要な人材・取組〉

- 県内にいる人材、必要なニーズの共有と、学校間の連携
- 全県レベルでのWiFi環境の構築

## 審議事項（1）〈報告〉前回会議の振り返り

### ③ 地域社会を支える人材の育成に関する意見

現状・課題	必要な人材・取組
<p>〈全国的な現状・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ コロナによるオンライン活用の進行と、貧困問題による地域差（WiFi環境等）</li></ul> <p>〈沖縄独自の現状・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 離島地域の人材やスキル、ノウハウの不足</li><li>・ 離島で育ったことの肯定感と、教育インフラ等の不足</li><li>・ 15歳以下の人材が日本一</li></ul>	<p>〈全国的に必要な人材・取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「足りることを知る」感覚を再評価した人材育成</li><li>・ 企業や社会の学校への介入による貧困問題の解決</li><li>・ ITを活用した、今考えつかない面白い教育環境の構築</li><li>・ （プロフェッショナルではなく、）オールラウンドの人材輩出</li></ul> <p>〈沖縄県に必要な人材・取組〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 他地域の人材との連携</li><li>・ 他県や国に縛られない、沖縄独自の人材育成</li></ul>

## <参考> SCAMPER法とは

- SCAMPER法とは、創造性開発研究家のボブ・エバールが「オズ・ボーンのチェックリスト」（※アイデアを強制的に量産するフレームワーク）を改良したフレームワークで、**S,C,A,M,P,E,R**の頭文字にある質問事項を7つの項目にまとめたもの（※下表参照）。

<b>Substitute</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>他のもので代用したら？</li> <li>ある目的に対して、現在のやり方以外の方法や手段を考え出す。他の [モノ/人物/材料・素材/製法/場所/方法/色/味...]。</li> </ul>	<b>Combine</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>組み合わせたら？</li> <li>ブレンド、ユニット、目的などを組み合わせてみると？ 混合/融合/詰合わせ/合奏、[部品/目的/利点/着想...] を組み合わせる。</li> </ul>	<b>Adapt</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>他のネタをアイデアとして転用できないか？</li> <li>似たものからヒントを借りる。過去に事例はないか。何かの模倣や誰かの真似で済ませることはできるか。</li> </ul>
代用できないか	結合できないか	応用できないか
<b>Modify</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>変えてみたらどうなるか？</li> <li>形を変える。色を変える。大きさを変える。意味を変える。動きを変える。音を変える。臭いを変える。様式を変える。</li> </ul>	<b>テーマ①産業振興を担う人材の育成に関する意見</b>	<b>Magnify</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>何かを付け加えてみたら、どうなるか。拡大～拡張～追加～重くしてみたら？</li> <li>現にあるものを大きくしてみたり、誇張してみる。もっと [時間を/頻度を/強く/高く/長く/厚く/余分に...]。</li> </ul>
修正できないか		拡大できないか
<b>Put to other uses</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の用途、他に使い道はないか？</li> <li>現状のままで、使い方を新しくできないか。既存の材料や製品、さらに廃品などについても、別の新しい使い道を考え出す。</li> </ul>	<b>Eliminate/minify</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>何かを取り除いてみると？</li> <li>[モノ（部品）/プロセス/コスト/人/情報...] を省略・除去して/簡素化・合理化して/余計な部分を削って/ゼロに戻して...</li> </ul>	<b>Reverse/Rearrange</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>逆にしたら？/再編したら？</li> <li>前と後/上と下/右と左をアベコベ～サカサマにしてみる。因果関係を逆に/役割を逆転して反対側につけて/押して駄目なら引いて...</li> <li>現にあるものの部分と部分、要素と要素などを入れ替えてみる。構成/配置/順序/時間軸を変える。</li> </ul>
転用できないか	削除/削減できないか	逆転/再編集できないか

(参考) PLANiDEA insight WEBサイト「SCAMPER法/スキャンパー法」、他

## 審議事項（1）意見交換

### ① 産業振興を担う人材の育成に関する意見の再整理（叩き台）※自由に変更可能（二重掲載も可能）

<p><b>Substitute</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長期的に人の価値（ITリテラシーの向上と高付加価値化等）</li> </ul>	<p><b>Combine</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉・介護の必要な方の社会進出と介護離職</li> <li>伝統文化・芸能を担う人材の育成と観客層の育成（伝統文化・芸能の継承）</li> </ul>	<p><b>Adapt</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高学歴者の県外就職・進学</li> <li>他県や世界から注目されるくらいのきっかけになるような人材育成</li> <li>ITに頼らない部分を踏まえた、伝統文化・芸能振興</li> </ul>
<p>代用できないか</p>	<p>結合できないか</p>	<p>応用できないか</p>
<p><b>Modify</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（福祉・介護の）コロナによるマイナスイメージ</li> </ul>	<p>テーマ①産業振興を担う人材の育成に関する意見</p>	<p><b>Magnify</b></p>
<p>修正できないか</p>		<p>拡大できないか</p>
<p><b>Put to other uses</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短期的に既存業態の変化</li> </ul>	<p><b>Eliminate/minify</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉・介護人材の不足</li> </ul>	<p><b>Reverse/Rearrange</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（福祉・介護の）コロナによるマイナスイメージ</li> </ul>
<p>転用できないか</p>	<p>削除／削減できないか</p>	<p>逆転／再編集できないか</p>

## 審議事項（1）意見交換

### ② 学校教育と社会教育の総合的・横断的な取組等の推進に関する意見の再整理（叩き台）※自由に変更可能（

<p><b>Substitute</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の改訂と、GIGAスクール構想</li> </ul>	<p><b>Combine</b></p>	<p><b>Adapt</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン化による平等な教育の可能性</li> <li>ビジネスアナリストの台頭と、県民（特に女性）との親和性</li> </ul>
<p>代用できないか</p>	<p>結合できないか</p>	<p>応用できないか</p>
<p><b>Modify</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IT教育、ITを活用した教育の遅れ考える能力の欠如（ビジネス環境、プロセスの変化を他人事として捉えている）</li> <li>ITリテラシーの格差（地域間格差、学校間格差）</li> <li>コロナ禍の中で、これまでのキャリア教育（管理教育）の機能不全</li> </ul>	<p><b>テーマ②学校教育と社会教育の総合的・横断的な取組等の推進に関する意見</b></p>	<p><b>Magnify</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治体による福祉体験・ボランティア体験</li> </ul>
<p>修正できないか</p>		<p>拡大できないか</p>
<p><b>Put to other uses</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BPO事業による業務の推進（コールセンター等）と、将来的な機械化への代替</li> </ul>	<p><b>Eliminate/minify</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（日本全体の）貧困対策の遅れ</li> <li>自己肯定感・自己効力感の低さ</li> </ul>	<p><b>Reverse/Rearrange</b></p>
<p>転用できないか</p>	<p>削除／削減できないか</p>	<p>逆転／再編集できないか</p>

## 審議事項（1）意見交換

### ③ 地域社会を支える人材の育成に関する意見の再整理（叩き台）※自由に変更可能（二重掲載も可能）

<b>Substitute</b>	<b>Combine</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>他地域の人材との連携</li> <li>（プロフェッショナルではなく、）オールラウンドの人材輩出</li> </ul>	<b>Adapt</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナによるオンライン活用の進行と、貧困問題による地域差（WiFi環境等）</li> <li>ITを活用した、今考えつかない面白い教育環境の構築</li> <li>15歳以下の人材が日本一</li> <li>他県や国に縛られない、沖縄独自の人材育成</li> </ul>
代用できないか	結合できないか	応用できないか
<b>Modify</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>貧困問題による地域差（WiFi環境等）</li> <li>離島における教育インフラの不足「足りることを知る」感覚を再評価した人材育成</li> <li>企業や社会の学校への介入による貧困問題の解決</li> </ul>	<b>テーマ③地域社会を支える人材の育成に関する意見</b>	<b>Magnify</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>他地域の人材との連携</li> </ul>
修正できないか		拡大できないか
<b>Put to other uses</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ITを活用した、今考えつかない面白い教育環境の構築</li> </ul>	<b>Eliminate/minify</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>貧困問題による地域差（WiFi環境等）</li> <li>離島地域の人材やスキル、ノウハウの不足</li> </ul>	<b>Reverse/Rearrange</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>離島地域の人材やスキル、ノウハウの不足</li> <li>離島で育ったことの肯定感と、教育インフラ等の不足</li> </ul>
転用できないか	削除／削減できないか	逆転／再編集できないか

# 事務連絡

会議 (開催予定時期)	審議事項	会議におけるゴール（決定事項）
第1回会議 (2020年8月24日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本会議の委員の紹介ならびに委員長・副委員長の選任</li> <li>② 本会議の進め方とスケジュール</li> <li>③ 意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 委員ならびに委員長・副委員長の選任</li> <li>• 進め方とスケジュールの承認</li> <li>• 主要なテーマに関する課題の収集</li> <li>• アフターコロナ、Withコロナに関する課題の収集</li> </ul>
第2回会議 (9月7日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① &lt;報告&gt; 第1回会議の振り返り</li> <li>② 主要テーマに関する意見交換</li> <li>③ その他意見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 前回の意見内容の確認と、内容の深化</li> <li>• 前回、言い足りなかった点や新たに付け加えたい内容の意見収集</li> </ul>
第3回会議 (11～12月頃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 提言内容（骨子）の確認</li> <li>② 提言内容に関する意見交換</li> <li>③ その他意見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 提言内容の骨子の承認</li> <li>• 主要テーマにおける着目点の確認</li> </ul>
第4回会議 (2021年1～2月頃)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 提言内容（素案）の確認</li> <li>② 提言書の骨子案に関する意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 提案内容で過不足分の最終確認</li> <li>• 提言内容の承認</li> </ul>
第5回会議 (2021年2月頃)	第4回会議で内容がまとまらない場合の予備日として設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 第4回会議におけるゴール（決定事項）の確認</li> </ul>

## 事務連絡

- **次回（第3回）会議は、10月28日（水） 15:00-17:00**
- **第4回会議は、11月13日（金） 15:00-17:00**
- 当面、オンライン会議での開催を予定していますが、リアル会議に変更する際には、改めて連絡致します。
- 会議前にも、今後2週間ごとを目処に、まとまった資料を提出して意見聴取を進めたいと思いますので、よろしくお願い致します。